

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月29日

計画の名称	川越地区における復興まちづくりの推進												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	江津市												
計画の目標	江津市桜江観測所で1時間降雨量及び24時間降雨量が観測史上1位の値を記録した平成25年8月23日からの大雨において、桜江町川越地区では床下浸水等の家屋被害や水道の断水被害が発生した。また、平成30年7月の西日本豪雨により、同地区は、川越地域コミュニティ交流センター及び周辺の家屋や道路等の公共施設が浸水し、住民が避難できず孤立したことから、避難所の整備及び地区全体の防災性向上が喫緊の課題となっている。 平成25年8月23日からの大雨及び平成30年7月の西日本豪雨により被災した桜江町川越地区において、これら2つの災害を教訓としたまちづくり及び地域活力の早期復興に向けた事業等を検討するため、復興まちづくり計画を策定する。 また、旧交流センターを解体・撤去したのち地盤を嵩上げ、進入路、広場、駐車場及び避難所兼地域交流施設の整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	245	A	245	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	江津市における復興まちづくりの推進 江津市における復興まちづくり計画の策定率 復興まちづくり計画の策定地区数 / 江津市における復興まちづくり計画の策定が必要な地区数	H30.4 0%		R5.3 100%
2	川越地区浸水被害人口に対する川越地域コミュニティ交流センターへの避難収容人数を100%にする 川越地域コミュニティ交流センターへの避難収容人数の拡大 避難収容率(収容人数 / 川越地区浸水被害人口) 収容人数は1人/1.5㎡で換算	28%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	江津市	直接	江津市	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業(川越地区)	復興まちづくり計画の策定	江津市						5		-	
	A13-002	都市防災	一般	江津市	直接	江津市	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業(川越地区)	復興まちづくり支援施設(旧交流センター解体撤去、避難所兼地域交流施設・進入路・駐車場・広場の整備)	江津市						240		-	
											小計						245			
											合計						245			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	0	0	7	0	
計画別流用増 減額 (b)	3	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	3	0	7	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	3	0	0	
支払済額 (e)	0	3	7	0	
翌年度繰越額 (f)	3	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	3	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議に不測の日数を要したため				

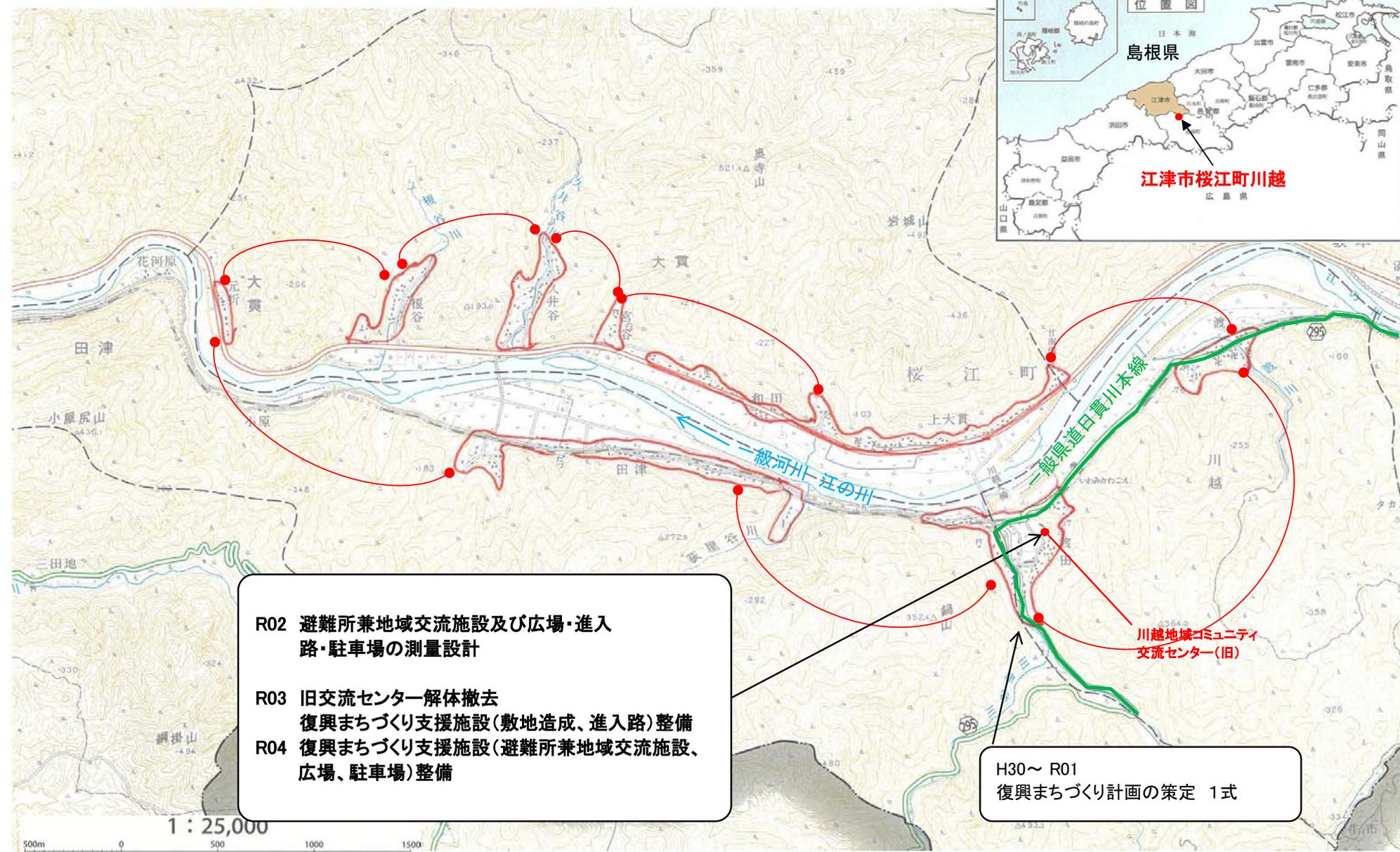
事前評価チェックシート

計画の名称： 川越地区における復興まちづくりの推進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	川越地区における復興まちづくりの推進		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	島根県江津市桜江町川越



- R02 避難所兼地域交流施設及び広場・進入路・駐車場の測量設計
- R03 旧交流センター解体撤去
復興まちづくり支援施設(敷地造成、進入路)整備
- R04 復興まちづくり支援施設(避難所兼地域交流施設、広場、駐車場)整備

H30~ R01
復興まちづくり計画の策定 1式

川越地域コミュニティ
交流センター(旧)